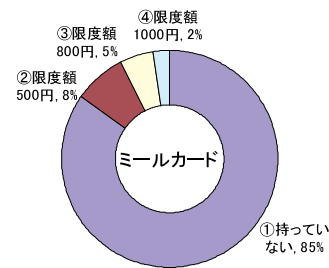
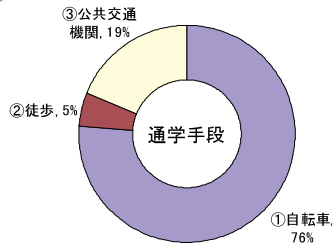
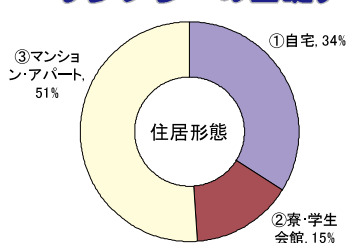


食堂利用に関するアンケートにご協力いただきました。

サンプラーの基礎データ



- ・全体の3分の1が自宅生です。ほぼ実態どおりではないかと思われます。
- ・自転車通学が全体の4分の3です。空きコマなどに気軽に自分の部屋に戻る傾向が増えているようです。
- ・自宅外生は5人に一人がミールカードを保有しています。



① 自宅	4%
② 寮・学生会館	20%
③ マンション・アパート	20%
全体	14%

お昼ごはんは、40人が生協食堂で、12人が生協の売店でおにぎりやパンを購入しました。8人がコンビニで購入して、4人が近所の飲食店で食事をしました。24人がお弁当を持ってくるか自分の部屋に戻ってお昼ごはんを食べました。ちょっと気になりますが、食べなかった人が7人いました。

食べた人のうち28人は200円以内の食事です。おにぎり一個とカップめんなのかもしれません。自宅生の場合は、お母さんが作ってくれたお弁当かもしれませんね。

自宅生34人のうちお弁当持参は9人、生協食堂を利用した人は8人です。

ということは自宅生以外も15人はお弁当を持ってくるかもしくは自分の部屋に戻ってお昼ごはんを食べていることとなります。

ミールカードを持っている15人のうち13人は生協食堂でお昼ご飯を食べました。

昼食の購入場所

① 食堂	40%
② 生協購買	12%
③ コンビニ	8%
④ 飲食店	4%
⑤ 自炊	24%
⑥ 食べていない	7%
⑦ その他	5%

昼食の価格

① 0-200円	28%
② 200-400円	35%
③ 400-600円	34%
④ 600-800円	2%
⑤ 800円以上	1%



昨春秋以降の景気の低迷などに伴う仕送り額の減少や、それに伴う食費の抑制傾向などが明らか(学生生活実態調査など)になってきています。また昨年夏頃から食料が高騰し、何とか値上げせずにはやってきましたが、生協もやはりこのようにメニュー価格の一部を改定させていただきました。その他は、これら食堂の閉鎖などもあり、そういう中で今年度当初より食堂の利用が伸び悩んでいるかと推察しています。

11月20日と12月1日に約1800人の皆さんの協力を得て食堂利用に関するアンケート調査を行いました。調査内容は、調査日を含め過去3日間の朝食・昼食・夕食について、購入場所、食べたところ、購入金額を聞くというものでした。この調査の中からいくつかの特徴的なことが見えてきました。



食堂利用に関するアンケートにご協力いただきました。



厳しい経済情勢が 北大生の食生活を直撃！



北大がもし100人の大学だったら…

※サンプルは1年生が全体の約3分の2を占めます。必ずしも正確な学年構成になっていませんが、「北大がもし100人の大学だったら…」と少し前に話題になった書籍『世界がもし100人の村だったら』（マガジハウス、池田香代子 風にアンケート結果をまとめました）

夕

驚くことに全体の約半分の47人が自炊をしています。食べていない人も含め43人が200円以内の食事ですから、やはり厳しい経済情勢の中での節約志向が伺えますね。週に何日かは生協の食堂でバランスの取れた食事を取ってほしいものです。

朝

朝ごはんを食べていない人が27人。ちょっと心配です。47人が自宅で食べ、生協の食堂や購買を利用した人が5人、コンビニを利用した人も5人でした。

当然ともいえますが77人が200円以内の食事です。朝ごはんですから前の日の余りとか、パンと牛乳なんていうのもけっこうあると思います。400円以上かけてしっかり食べている人も9人います。

夕食の購入場所

① 食堂	11%
② 生協購買	2%
③ コンビニ	6%
④ 飲食店	11%
⑤ 自炊	47%
⑥ 食べていない	7%
⑦ その他	17%

夕食の価格

① 0-200円	43%
② 200-400円	18%
③ 400-600円	21%
④ 600-800円	9%
⑤ 800円以上	9%

朝食の購入場所

① 食堂	4%
② 生協購買	1%
③ コンビニ	5%
④ 飲食店	1%
⑤ 自炊	47%
⑥ 食べていない	27%
⑦ その他	16%

朝食の価格

① 0-200円	77%
② 200-400円	14%
③ 400-600円	6%
④ 600-800円	3%
⑤ 800円以上	0%



私たちは、昼食にしても夕食にしてももう少しご利用いただいているのではないかと考えていました。結果は予想に反してかなり厳しいものでした。調査ではその日何限の授業を受けたかということも聞きましたが、2限も3限も授業があるのにお昼にわざわざ部屋に戻って食事をする人が13%もいたり、自宅外生であるにもかかわらずお弁当持参で登校する

人もいたり、少し前とはかなり様変わりしてきています。

厳しい経済情勢の中で、毎日安心してご利用いただける食堂を目指して今後とも努力してまいります。引き続き皆様のご意見ご要望などをぜひお寄せください。

